

新市長 鍋谷 暁 就任!



「成果」と「対話」を重視した市政運営のもと、

新たな時代を切り拓きます!

市民の皆様とともに実現する 3つの柱

人口減少が急速に進む中、今後10年間は能代市の将来を大きく左右する極めて重要な時期であると考えています。
この最大の課題に対し、「攻め」と「守り」の施策を両輪として取り組み、若者に選ばれ、全世代が希望と幸福を感じられるまちづくりに全身全霊で挑みたいと考えていますので、皆様の「ご理解」と「協力」をお願いいたします。

1. 若者に選ばれる、希望あふれる能代

移住定住政策
県が取り組むマーケティング戦略と連携して取り組むことで、移住定住政策の精度を高め、社会減の抑制につなげます。
子育て・結婚支援政策
「子育てするなら能代」をスローガンに、きめ細やかな子育て支援サービスを充実させます。また、自然な出会いの場の創出や経済的不安の解消にも取り組み、結婚を後押しします。

教育政策

子育て世代に選ばれる能代を実現するためには、「魅力的な教育環境」が不可欠です。貧困や虐待、いじめから子どもたちを守り、健やかに成長できる環境を整えます。さらに、子どもたちが将来に希望をもち、夢

に向かって挑戦できる教育を推進します。

2. 幸せを実感できる、安心・安全の能代

医療・介護・福祉政策
本市の医療・介護は、少子高齢化や人手不足で、今後ますます厳しくなると予想されます。だからこそ、先を見据えた政策で市民の健康と安心・安全な生活を守り、誰もが幸せを実感できるまちを目指します。
防災・クマ対策
災害の激甚化・頻発化が進む中、本市でも近年は大雨災害が多発しています。また、クマが市街地に出没するようになり、被害が増えています。国や県と連携を強化し、先進事例などの最新情報を常に取り入れながら、対策を進め、市民の命と暮らしを守ります。

3. 成長と豊かさを、実感できる、持続可能な能代

産業・商工政策
国が2050年カーボンニュートラル(CO2実質ゼロ)に向けてかじを切り、地球温暖化対策が求められる中、再生可能エネルギーの価値は高まっています。陸上・洋上風力発電に加え、新産業や企業誘致など多角的な産業振興に取り組み、経済

インフラ・交通政策
高齢化で除雪作業が困難な方が増える中、除雪体制の維持とサービス向上に取り組み、冬季の安心・安全な暮らしを支えます。また、地域住民の移動手段を確保するため、公共交通の維持に努めるとともに、バス路線の廃止やタクシーの減少などへの対策に取り組みます。

効果を最大限に高めるとともに、物価高騰や人手不足など厳しい経営環境におかれている中小企業・小規模事業者を全力で支援します。
農林業政策
第一次産業は国の基礎であり、地域の暮らしを支える重要な基盤です。しかし、高齢化などにより担い手や後継者不足が深刻化しています。基幹産業である「農業」と、脱炭素社会で注目される「林業」の担い手確保に向け、新規就農支援や若手従事者の育成などを県と連携して進めます。あわせて、生産者・従事者が豊かさを実感できるよう支援していきます。

行財政改革・デジタル政策

人口減少やインフラの老朽化が進み、今後はさらに厳しい財政運営が求められます。こうした状況でも市民の安心・安全を守りながら、成長につながる投資ができるよう、デジタルの活用を含め無駄のない効率的な行財政運営を進めます。

市長 プロフィール

- 生年月日 平成6年9月5日
- 略 歴
 - 平成22年 能代市立東雲中学校卒業
 - 平成25年 秋田県立能代高等学校卒業
 - 平成29年 国際教養大学卒業
 - 令和4年 能代市議会議員



4月19日(日)執行の能代市長選挙で初当選を果たした鍋谷市長は、4月23日(木)、市役所本庁舎での就任式で、職員に向けて「成果にこだわり、対話を大事にしたい。明るく前向きなマインドを持って、ともに能代市の今と未来をつくっていきましょう」と訓示を行いました。





はじまる。新生活

新市長と同様に、新しい職場で働き始めた方、能代に移住し新年度を迎える方など、この春能代市で新生活を迎えた方々にお話を聞きました。



岩谷 煌さん

青森県深浦町出身。3月に短期大学を卒業し、4月に大栄木工に入社。所属は製造部。大栄木工…昭和22年創業。伝統的な木製建具や木製の防火戸を製造する木製建具のスペシャリスト。



父が大工だったこともあり、幼い頃から建築に関わる仕事かしたいと思っていました。土木関係の高校に通い、短期大学では建築を学びました。学校で行われた企業説明会で大栄木工を知り、格好いいなと思う、この春入社しました。

今は、上司や先輩に教わりながら、自分の道具を入れるための道具箱を作っています。毎年新入社員が最初に研修として作っていて、自分で使う道具に合うサイズに設計し、木も好きなものを選んで作っています。念願の仕事なので、とても楽しいです。

この春から初めての一人暮らしをしています。能代は整っていて住みやすいです。食べることが大好きで、休日はラーメン屋さんによく行きます。店の数が多く、それぞれに特徴があつてどこもおいしいです。

今後は、扉などの建具を作りたいです。大栄木工では、防火戸を作っているのですが、まだ完成品しか見たことがないので、内側を見てみたいですね。そして、成長した姿を母校や家族に見てもらいたいです。



このコーナーのインタビュー動画は私たちが撮影しました！



花田 萌さん

大館市出身。2月に秋田市から移住。「企業委託型」の地域おこし協力隊としてジーアイトレースに入社。シティプロモーションをテーマに取り組む。

ジーアイトレース…令和6年創業。Webサイトや映像、印刷物、イベントを通じて企業や地域に新たな価値を生み出す。



名古屋市のIT企業やカナダでのワーキングホリデーを経て、偶然参加した地元秋田のIT企業の合同説明会で最初に話をした縁もあり、入社しました。幅広い事業を展開していることや、説明会で聞いた「まずは行動！」という言葉に惹かれました。

大館市や秋田市に住んでいたものの、能代にきたことはほとんどありませんでした。実際に暮らしてみると、海も川も山もある自然の豊かさに驚きました。また、地元ならではの飲食店が多く、コストも良い。生活しやすいまちだと思います。

仕事では主にSNS運用がメインですが、動画撮影などもします。撮影の練習で行ったはまなす画廊は、海や海から見える白神山地がきれいで、お気に入りの癒しスポットです。

地域活性化のために動いている人が多くいると感じていて、今後は能代に住む人を通じて魅力を発信できたらと思っています。



信太 貴喜さん

三種町出身。昨年10月に神奈川県から妻の千華さん(能代市出身)、智至ちゃん(1歳)と移住。昨年11月に能代電設工業に入社。能代電設工業…昭和59年創業。電気、機械器具設置、管工事、電気通信などの事業に加え、近年では再生可能エネルギーなど様々な事業を展開。能代市総合体育館のネーミングライツ・パートナー。



自分も妻もいつかは地元に戻りたいと思っていました。妻の母が移住相談会が東京で行われることを教えてくれ、軽い気持ちで参加したのですが、話を聞くうちに本格的に移住を検討し、昨年秋に移住しました。仕事もすぐに見つかり、充実した日々を過ごしています。

実際に住んでみると、昔より通学などの小・中学生を見かけることが少なくなりました。驚きました。その一方で、関東圏と比べて知らない人に様々な場所で挨拶をされたり話しかけられたりするところは、昔と変わらなくてうれしいなと思っています。

休日は、天気の良い日は家族で河畔公園に行きます。子どもがまだ小さいので遊具では遊べませんが、楽しそうに遊んでいます。冬はつどいの広場ばかりにも行きました。



堀川 太一さん・朱里さん

太一さん：長野県岡谷市出身。朱里さん：八峰町出身。昨年8月に東京都から娘の叶愛ちゃん(1歳)と家族で移住。太一さんは林業関係の会社へ就職、朱里さんは起業に向けて準備中。



(太一さん) 20年以上ラグビーをやってきました。社会人ラグビーを引退し、子どもを自然に囲まれた環境で育てたい、今まで支えてくれた妻のやりたいことを応援したいと思いい、移住しました。

週末はエナジウムパークや子ども館に行きます。これからは外でも一緒にたくさん遊べそうなので、楽しみです。

能代は木が有名で、体を動かす仕事したいと思いい、今の会社に入社しました。研修などを経て資格を取得し、早く先輩のように一人前になりたいです。あとは能代でもラグビーができたらいなと思っています。

(朱里さん) いつかは秋田に戻りたい、子育ては秋田でしたいと思いいました。相談会や移住体験で同年代の先輩移住者が頑張っている話を聞いて移住を決めました。土地勘はありましたが、親目線で見ると、子どもの遊び場が多く、子育てのしやすさ、子どもを感じています。

